

令和4年度「地理A」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	普通科・理数科・美術科	地理歴史	地理A	2	選択
教科書	地理A(東書)、新詳高等地図(帝国書院)				
副教材	新地理要点ノート(啓隆社) 新編地理資料2022(とうほう) 新地理の研究(啓隆社)				

学習の目的

- 1 現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的な背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、地理的認識を養う。
- 2 地理的な見方・考え方を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

学習の目標

I 知識・技能	地理的諸事象や地域性、現代的諸課題の分析・考察に必要とされる基礎的知識(用語・地名など)や基本的概念(空間、環境、地域)を身に付けている。
C 思考・判断・表現	地図化したことを他の地理的諸事象との関わりから分析・考察・解釈し、そこから地理的概念や規則性(地理の見方・考え方)を見出すことができる。
E 学びに向かう力・人間性等	現代的諸課題について、地域性をふまえて、その背景・要因・解決策を多方面から追究し、環境・人権・平和の観点からより良い社会のあり方を提言することができる。
つきたい力	学習に必要とされる様々な資料を収集し、それらを的確に取捨選択し、調査・分析することができる。

評価方法

	I	C	E
◇ 定期考査は1学期期末、2学期中間・期末、3学期学年末の4回実施する。定期考査は成績の8割分。	○	○	○
◇ 各学期ごとに授業ノート等を提出する。成績の平常点(2割分)に含む。	○	○	
◇ 課題への取組状況、提出状況。		○	○
◇ 長期休業中にレポート課題を課す。		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 単に用語を暗記するだけでなく、具体的な例(場所)を地図帳を使って確認しましょう。
- ◇ 一つ一つの事象は、空間で起きており、その周辺には景観があります。景観をイメージしましょう。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考查	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	第2編第1章 生活の舞台としての地形 ①変動帯と安定陸塊の地形と生活	世界の大地形について、形成・分布の特色・地下資源との関係について世界的な視野から学習する		日本のオーストラリアからの輸入金額上位3品目を占める鉱物・エネルギー資源の産地について、どのような場所に分布しているか、資源名を明らかにして大地形との関連に触れて説明せよ。	○	○	○
	5	第2編第1章 生活の舞台としての地形 ①変動帯と安定陸塊の地形と生活	世界の大地形について、形成・分布の特色・地下資源との関係について世界的な視野から学習する					
	6	第2編第1章 生活の舞台としての地形 ②河川・海岸の地形と生活	河川や海岸における諸地形の特徴について考察する。	期末考查	氾濫原における土地利用について説明せよ。	○	○	
	7	第2編第1章 生活の舞台としての地形 ②河川・海岸の地形と生活	写真や地形図を用いて、地形環境と人々の生活との関係を考察する。		エスチュアリーとフィヨルドの地形の発達について、「土砂供給」の語を用いて説明せよ。	○	○	
第2学期	9	第2編第1章 生活の舞台としての気候	大気の大循環のメカニズムを理解することで、地域による気候の違いとその要因について考察する。					
	10	第2編第1章 生活の舞台としての気候	写真を用いて、各気候区の特徴や気候環境と人々の生活との関係について考察する。	中間考查	サバナ気候と地中海性気候における年間の降水の特徴について、気候帯に触れて説明せよ。	○	○	
	11		世界の各気候帯(熱帯、乾燥帯、温帯、冷帯・寒帯、高山気候)とそこに居住する人々の生活の特徴について理解するとともに、気候環境と人々の生活との関係について考察する。	期末考查	サヘル地方の砂漠化の要因について説明せよ。	○	○	
	12	第3編深刻化する地球的課題とその解決策 第2章さまざまな地球的課題	農業の発達と農業地域の形成の関係について理解した上で、農業の国際化と食生活の変化との関係について理解する。		ケニアのホワイトハイランドについて、白色人種が入植した理由について、自然条件・社会条件に触れながら説明せよ。	○	○	○
第3学期	1		写真や具体物を用いて、現代農業の特徴と私たちの生活との関係について考察する。	実力考查				
	2	第4編 身近な地域と地理的課題 第1章 身近な地域と地図	統計資料をもとに主題図を作成し、その読み取りを行うことで地理的事象を考察するための技能を身に付けます。	学年末考查	階級区分図を作成するに際、表現方法として注意すべき点について説明せよ。	○	○	○
	3		地図にはその目的に応じて様々な種類・表現のものがあることを理解します。		メルカトル図法において、大圏航路が直線で表現される2つの条件について、それぞれ説明せよ。	○	○	○

※行事等で変更になる場合があります。